

今日の説教のポイント <創世記 12 章 10～20 節>

①神様のなさることはむごい？

先週の箇所で、突然呼びかけられた神様の声に従って旅に出たアブラム。それは、神様を信頼し切って歩む信仰者の手本のような姿でした。しかし、そのアブラムが飢饉に遭い、生き抜くために妻サライをエジプト王に差し出すしかなくなったのです。神様のなさることはむごいのではないのでしょうか？

②アブラムの予想は的中？ では、彼の策略は成功したのか？

アブラムは困難に出遭って色々思い巡らします。エジプト人とファラオについて知っていることを総動員して予想したのです。結果は大当たり。彼が予想した通りになりました。美しい妻サライを求めて来たのです。彼は逆らったらどうなるか分からないと考え、妹と偽って王に差し出しました。その結果、アブラムは見返りとして、多くの財産を手に入れました。予想は的中、財産も増え、万々歳でしょうか？ そんなはずありません。家族関係が破壊されたのですから！

③神様は、アブラムのしたことを決して良しとはされていない！

聖書は後半で、主によって病気をもたらされたファラオが、「どうして嘘をついたのか。そんなことをする必要はなかったのに」と語っています。アブラムが抱いたファラオへの心配は全く必要なかったのです！ 彼の独り相撲だったのです！ 前回の箇所では、アブラムは行く先々で祭壇を築き、神様に向かっています(7,8)。しかし、今日の箇所から、彼が神様に向かった様子は全く感じられません。心配が高じる中で、神様に向くよりは神様からどんどん離れ、自分の知恵に走り、ますます不安が増し、ついに大きな過ちを犯すことになったのです。私たちがこのことから学ぶことは多いはずです。

④むごいのはアブラム。それでも彼を救い出される神様！

神様はむごい？ 否、むごいのは人間アブラムでしょう！ しかしそれにもかかわらず、神様はそのアブラムを救出して下さったのです！ なぜ赦されたのか？ その理由は私たちには分かりません。神様はこのような方なのだと言えませんが、聖書は語っているとしか言えません。聖書が告げる神様の赦しと救いとは、このような驚くべき内容なのです！